



東京の慶應大学舎内で、佐藤しげ子さんの詩の朗読会に参加してくださった小貫さんとお目にかかりました。小貫さんは、富岡町の文化交流施設「学びの森」の館長さんでした。震災時は図書館長として、やはり、あの「学びの森」にいました。平成16年に完成して以来大切に育んできた「学びの森」の惨状を目の前にしてその衝撃は言葉にならなかったといいます。震災後は郡山に一時避難していましたが、体調を崩し東京の子供さんの元に移りました。双葉高校時代は、はじめは野球部に所属していたそうですが、小貫さんの一番の趣味は「音楽」。「学びの森」でも、小貫さんのプロデュースによる音楽関係の催事が充実していましたこと、きっと思い出される方もたくさんいることと思います。現在は、東京で双高時代の同級生達(映画監督佐藤 武光さんなど)と、今回の震災からの復興を文化活動の面から切り込んでいこうと活動を始めています。佐藤しげ子さんの詩集を高く評価し、出版のお手伝いなどもしました。ゆったりとした外見で笑顔は「温厚」そのものですが、口を開くと団塊の世代特有の実行力にあふれた熱い言葉が聞かれました。「今こそ、生涯学習が大切なんだ!」と。(青木)

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。
好間応急仮設住宅自治会長 藤井 和彦さん



海釣りが好きで、春先から秋口にかけてよくいっていたという藤井さん。「竿を立てて何も考えずにのんびりしている時間が好きなんだ」と笑顔で話します。震災後、一時帰宅の時に釣り道具は持つて帰ってきたものの、いわきの港に行つても誰もやっている人がいなくて、一度も竿をふつていません。避難先での生活が長引く中で藤井さんは、避難している地域で開催される行事にはできる限り参加するなど、その地元の方々との交流を特に大事にしています。「いわきに間借りしている立場だけど、時間をかけて地元の方々に溶け込んでいけるようにしていきたい」と藤井さんは話します。環境が変わり勝手が違う状況でも、今の生活をよりよくしていこうという前向きな姿が印象的でした。(吉田)

みんなの広場 このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みなさんの作品を紹介します♪



作者は、郡山市亀田の借り上げ住宅にお住いの堀川スイノさん。写真の作品は、割りばしや爪楊枝など身近な物を活かした作品で、旦那さんと一緒に作りになったそうです。堀川さんは、このような作品を作る他に、週に3回のグランドゴルフが楽しみだということです。



おだがいさまセンター (富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこち

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

9月22日(土) 午後1時~5時

開催場所 おだがいさまセンター

内 容 陶芸教室

主 催 おだがいさまセンター

*材料費(土代)として1800円頂きます。

*汚れてもいい服装、エプロン・タオルをご準備下さい。

9月27日(木) 午後1時半~3時

開催場所 ふくしま女性支援センター

(住所) 郡山市安積町荒井字方八丁65-1 山口ビル2F

内 容 おしゃべり茶話会

主 催 しんぐるまざあずふおーらむ福島

お問い合わせ TEL 024-983-8360 *お問い合わせは

平日午前10時~午後3時までとなります。

喫茶つづじ 主催:おだがいさまセンター

●おだがいさまセンター ●南1丁目仮設集会所(富岡側)

9月15日(土)・20日(木)・ 9月15日(土)・17日(月)・

22日(土)・27日(木)・ 18日(火)・22日(土)・

29(土) 24日(月)・25日(火)・29(土) ●毎回午前10時~午後1時

●毎回午前10時~午後1時

「富岡町民電話帳」掲載受付終了のお知らせ

「富岡町民電話帳」に掲載する情報をご提供いただいたみなさん、ご協力ありがとうございます。「広報とみおか7月号」と同封した文書で、7月末日までのハガキ投函をお願いしていましたが、8月25日到着分を最後に掲載受付を終了致しました。終了後に届いたハガキに関しては、今後発行する予定の改訂版作成の際に掲載致します。尚、電話帳の発送は10月下旬を予定しています。

お詫びと訂正

前号に掲載した「平沢仮設で交流会」という記事に下記の内容で誤りがありました。沢石及び平沢仮設のみなさんにはご迷惑をおかけてしまい申し訳ございませんでした。今後、同様の誤りがないよう細心の注意を払って編集して参りますので、これからも「みでやっぺ!」をご愛読いただきますよう、よろしくお願い致します。

掲載場所 見開き中面右上

記事タイトル 平沢仮設で交流会

訂正内容 誤「平沢仮設」⇒ 正「沢石仮設」

発行 おだがいさまセンター
運営 富岡町社会福祉協議会
連絡先 024-935-3332

めてやっぺ!

「夏まつりin郡山」開催!~ 600余名の参加で熱く盛り上がる…



8月11日(土)、郡山市富田応急仮設敷地内で「夏祭りin郡山」が開催されました。今回の夏祭りは、郡山方部の三仮設と借り上げ住宅居住者で作る、四自治会の役員を中心に行委員会を結成し、準備に当たってきました。町の職員、おだがいさまセンタースタッフ、連絡員なども一緒に数回に渡る会議を重ね、「屋台」「催し物」「盆踊り」のそれぞれの担当が、企画、涉外、設営などなどまさに「手作り」の「祭り開催」でした。実行委員は皆、震災前の富岡町で行われていた「祭り」を思いながら、現在の避難先での「祭り開催」に、「櫛はどうする?」「太鼓は?」「お囃子は集まるか?」…と頭を悩ませながらも、驚くほど発想と実行力で、見事に準備が整っていました。

当日は、残念ながら午後3時過ぎくらいから雨が降り始め、催し物の「せんだん太鼓(双葉)」の演奏は、激しい雨のために中断、夏祭りに集まった人々は、一時、300席準備された大テントに避難、テントの中で「藤めぐみ歌謡ショー」が続行されました。が、雨は激しくなる一方で、とうとう中断が宣

言されました。

しかし、開会セレモニーでの、富岡町長、川内村長、富岡町議会議長、双葉町福島支所長臨席の下での「黙祷」、催し物のトップを飾った富岡高校チアーディング部の震災後初の演技、屋台では「えびすこ市」「浪江焼きそば」と、双葉郡の心意気を示す店が並び、どこも行列の出来る盛況ぶり…何よりも、皆が楽しみにしていた「盆踊り」が出来なかつたことに心を残しながら、それでも、実行委員長の遠藤武さんは、「大成功だよ。雨には参ったが、それさえなければ100点満点かな…」と、翌日、早朝から集まつた実行委員の皆さんのがんばりをする様子を見ながら語りました。

「またやろうね!」誰からともなく声を掛け合う姿が、すっかりきれいで片付いた会場のあちこちにみられました。

実行委員の皆さん、会場になった富田仮設の住民の皆さん、当日会場においてくださった皆さん、そして、ボランティア、出店してくださった皆さん、ありがとうございました。



金魚すくい

FM便り

～パーソナリティ紹介～**じんどうゆう** 神道裕さん

「おだがいさまラジオランド」(周波数76.9MHz、毎週月曜日～金曜日の午後7時～9時に生放送中)火曜日担当の神道裕さんは、福島県を中心に活動をしているお笑いエンタ集団「みちのくボンガーズ」



**神道さん
コメント:**

「おだがいさまFM」が皆さんとのコミュニケーションツールの一つになればと思ってこれからも頑張っていきますので、家で聴いてもいいし、スタジオに遊びに来てもいいので、メッセージで参加してみて下さい!! お待ちしております!!

おだがいさまFM ホームページ随時更新中! <http://odfm.net/>



おだがいさま工房便り

今回研修では、紅花で木綿と絹を染めました。とてもよい仕上がりで、きれいなピンク色に染まりました。どのような色に染まるかわからないのが、染めの醍醐味です。織り研修では、織り機に慣れるため、とにかく織っています。「もの」ができると達成感と笑顔があふれます。



おだがいさまファーム通信

片平の安藤さんの畠で胡瓜が大収穫されました。その他にも夏野菜もたくさん採れ、お友達などに収穫した野菜をおすそ分け…。今後は冬野菜の収穫へ向け苗植えを始めるということで畠もまた一味違う風景になることでしょう。次の収穫がとても楽しみです。

安藤さんの畠に野菜かへっぱい!



3B体操40周年 全国大会in宮城

宮城県仙台市にあるグランディ21で「3B体操」の全国大会があり、富岡町民42名が招待されました。この全国大会は本来、昨年40周年で開催されるはずでしたが、震災の為、一年遅れて開催されました。招待された富岡町の皆さんは3B体操の交流タイムに参加し一緒に身体を動かしたり、会員や指導者の皆さんの迫力ある演技を観戦し楽しみました。九州、山陰、関西、東北…と全国から集まった方々で会場が満員でしたが、その皆さんのが「I love & I need youふくしま」の曲に合わせて演技する福島のチームに大きな歓声と「浜通り」の歌詞の部分では大きな拍手が湧きおこりました。多くの方々が声をかけて私たちを心から応援してくれているのがとても感じられ、嬉しい一日になりました。



ファイト一発!

8月25日(土)、「リポビタンD」のテレビCMでも御馴染みの渡辺裕之さんとケイン・コスギさんが「おだがいさまセンター」に来てくれました。喫茶つづに集まっていた皆さんと交流をしたり、12時から「おだがいさまFM」で放送される「とみおか76.9(セブンロック)」に特別ゲストとして出演したり、お二人とも気さくでとても優しく…最高でした!



生け花～絆カフェ～

地元を離れて2度目のお盆。お墓参りができず寂しい思いをされている方やご先祖の癒しになればと生け花をしました。お花を生けるのは久しぶりだという方が大半でしたが、お隣の方と会話し、中には中学生の女の子も参加しており、アドバイスをもらしながら皆さん楽しそうにお花を生けていました。



オリジナルTシャツ作り

8月6日(月)、おだがいさまセンターにて「オリジナルTシャツ作り」が開催されました。参加者は自分が好きな柄や好きな色を見つけてシャツにプリントをし、中には自分で直接Tシャツに絵を描いたり、世界に1つだけのオリジナルTシャツを作っていました。



真剣に渡辺さんの話を聞く子どもたち

小中学生を対象とした「おだがいさまセンター」の学習支援事業「おだがいさま子ども広場」。終戦記念日を迎えるにあたって、子どもたちに平和について考えてもらいたいという思いから、8月8日(水)、戦争を体験した高齢者の

方々の話を直に聞くプログラムを実施しました。お話ししてくれたのは、富田仮設にお住いの渡辺喜助さんと三瓶容子さん。お二人が小学生だった時に体験した戦争中の話に、参加した子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。